

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第二十号

OB会総会報告

平成二十一年五月二十二日
(金) 平塚工場

総会 出席者八十五名
司会進行 岩田常任幹事

一、鳥居会長挨拶



今年、ここ平塚工場で総会を開催したところ、八十五名のご出席をいただき、ありがとうございます。

さて、OB会員は、新入会員三十名を迎え、昨年より十六名増の六五七名となりました。

新三菱樹脂は、昨年四月発足後、一年余が過ぎましたが、昨秋からの未曾有の経済危機に加え、新型インフルエンザの感染が世界中に広がった影響もあり、会社経営状況は厳しくなっているのではないかと推察いたします。株式は上場されておらず、詳しい情報は知り得ませんので、後ほど、山岸平塚工場長から会社概況の説明を皆さんとともに聞きしたいと思います。

さて、人生八十年時代となりまして、リタイア後、約二十年の時間を持てるようになりました。自分の時間がたっぷりある反面、家族ともに若い、病にも上手に付き合うことが必要になりました。

先日、NHKのラジオ放送で、九十三歳の女性が、「男性が元気で長生きする」ためのアドバイスをしていました。その第一は、「実生活者になること」、第二は、「よく外出して人付き合いを多くすること」だそうです。ちなみに、OB会ホームページで報告されている「茅ヶ崎地区家庭菜園研究会」の活動は、趣味と実益を兼ね、まさに生活に密着したものと思つた次第です。

OB会の運営は、従来どおり、会員相互の親睦と連絡をはかるべく、続けて行きたいと思いません。なお、今総会で、通信費削減の提案をいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

結びに、本総会にあたり、三菱樹脂ならびに関係会社各位より、ご祝儀を頂戴したことをご報告し、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(挨拶の冒頭、新型インフルエンザの予防に対する詳細説明がありました。内容は割愛させていただきます。)

二、会務報告 岩田常任幹事

(1) 物故会員報告 昨年度は十四名の物故者がおられ、その御霊に全員で黙祷し、ご冥福をお祈りした。

(2) 傘寿祝い贈呈報告 十二名の方に祝いを贈呈した。



(3) 会員現勢報告 平成二十一年三月末現在会員総数は、昨年比で十六名増の六五七名、内新入会員三十名。

(4) 平成二十年度OB会決算報告 平成二十年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成二十一年度OB会予算説明。

(5) 谷口会計監事から監査報告
(6) 役員改選の件 濱辺正剛顧問が逝去された他は、役員の変動はない。

(7) 前記の決算、予算、役員改選の諸議案について出席者全員異議無くご承認を得た。

三、平塚工場見学

総会開催に先立って、平塚工場見学会が行われた。新型インフルエンザ対策のため、マスク着用して、三班に別れ、工場幹部の案内で、シヨールーム、ARセッソ工場、日本ポリペソコ社製造所を、熱心に見学した。

四、三菱樹脂経営状況説明

総会終了後、山岸秀樹平塚工場長から、新三菱樹脂社の、平成二十一年三ヶ月の経営状況について「世界同時不況の影響を受け、大幅減収減益、とくに第三、四半期がひどかった。」ということとともに、今後の経営重点方針、各生産拠点の状況、平塚工場トピックスについて、詳細な説明があった。

懇親会(クラブ湘濤)

出席者九十一名
司会進行 加藤常任幹事
開会挨拶 鳥居会長

吉田 宏社長「挨拶」



今日は、皆さんのお元気なお姿を拝見してうれしく思い、また私を呼んでいただき、本当にありがとうございます。すでに、山岸平塚工場長から、

会社の状況等、説明があったと思いますが、ご承知のように、昨年四月に、新生・三菱樹脂は船出しましたが、大変な荒波でございました。ナフサや我々の原料価格が乱高下し、とんでもない世の中になったわけですが、それにも増して、昨年九月、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安が、实体经济、我々のビジネスに大きな影響が出てきて、残念ながら世界同時不況に陥って、新三菱樹脂は、昨年十一月以降、売上が大幅減となり、昨年上半期に蓄えた貯金をすべてはきだしてしまい、残念な結果になったわけです。四月に至っても、一部、好調な部門もありますが、全体としては行っていません。今期も、まだ始まったばかりですが、二年連続の赤字は許されぬ、先輩諸氏に、えらく怒られるということ、黒字達成に向けて頑張っているところであります。去年の暮れに、新三菱樹脂の「育成事業」、五つの「集中事業」を決めて、限られた経営資源を、そこに重点的に投じていく「選択と集中」を強くやっていくというメッセージです。残念ながら郡山のパイプ工場を閉めてしまい、非常に申し訳ないですが、そういうことをやりつつ、一方では、将来の発展に向けても、投資を忘れないということをやっているところで、一つ明るい話題ですが、日本ポリペソコ社の親会社であるクオードラント社(世界最大手の

エンブラ会社)が、一緒に全世界、手を組んでやって行きましたよという話が来て、五月一日に契約調印をしました。戦略的な提携を組むということで、当局の許可が下りれば、全世界に、エンブラ事業を、この三菱樹脂が、日本ポリペンコ社の親会社と一緒にやっつけていこうということになります。この提携がうまく行けば、三菱樹脂は、現在二〇何パーセントの海外売上が四〇%弱になり、グローバルな会社になります。このような事業提携を組むことができましたのも、日本ポリペンコ社設立以来四〇数年に亘り、良き信頼関係を築いて下さいました諸先輩方のお陰であり、この場を借りて御礼申し上げます。

もう一つ、面白い話ですが、長浜の社員会館を建てかえることにしました。財布の中は空っぽですが、とにかく皆さんに頑張っていたくれたためには、この平塚と同じような研修施設と社員クラブといったものをつくるということ、六月に地鎮祭をやり、十一月に完成の予定です。

最後に、昨年暮れに、今年はどういう年にしたいか、一字で書けという宿題がきて、メディアにいろいろ話しましたが、その中で、三菱樹脂の皆さんには、「挑戦(Challenge)の挑」、「挑む」ということにしたいと申し上げました。「変革(Change)への挑戦、やがに(創造(Creation)への挑戦の「3C」で頑張ります。とにかく失敗を恐れず、頑張ってくださいと申し上げました。非常に苦しい時期なので、

緊張感を持ちながら、全員一丸となつて、諸先輩のためにも、我々のためにも頑張っていきたいと考えております。

乾杯・懇談

参加者第二長老の渡部一蔵氏のご発声で乾杯、懇談に移った。



中締

参加者最長老の岩崎俊二郎氏のご発声により、一本締めでお願いとなった。

総会&/or懇親会出席者

(九十一名)

(会社) 吉田宏社長、中西英二常務、山岸秀樹平塚工場長、田中敦平塚工場総務部長
(本部) 鳥居正義会長、高橋義衛顧問、菅澤武彦顧問、神尾章顧問、青山新太郎、井伊國裕、池田武、石井弘、石射祥光、石川治男、市村義雄、伊藤敬輔、岩崎俊二郎、岩田幸三、大庭忠利、大森和男、岡田五郎、岡本

邦雄、奥村倅三、小倉武司、小花秀一、風間元臣、鹿島静哉、加藤進、加藤欽一、金子昇、亀田実、木沢英雄、黒田正夫、小島和久、後藤勤、小林正威、小松繁、榮 洋一、榮谷暢恭、坂本堅一、佐藤勇、佐藤昌二、佐藤洋介、澤田耕輔、塩澤敏行、清水康次、下瀬英樹、杉山寛、高尾健二、高島信吾、田中須賀男、谷口勝利、柘植茂、辻輝彦、豊田安鴻、永井正義、中川実信、中川芳高、中戸川敏雄、野崎紋壽、野中矩仁、花田正一郎、浜田幸三、原島尚参、平盛秀正、藤居忠雄、藤井正敬、伏木正起、部谷宣之、古澤正文、松内俊夫、三廻部健三、宮下和久、宮本拓夫、森邦彦、安田久雄、山岡威、山上章三郎、山本猛、山谷章浩、吉井 靖、渡部一蔵、渡邊良秋(長浜) 梶道信、北村征美、後藤健二、富岡秀雄、西島藤夫(大阪) 押切繁、竹本恒三郎、山口滋 (九州) 相馬義一

第九回OB会作品展

神奈川県民ホール第一展示室
平成二十二年二月二十四〜三月一日
出展者二十三名 相川武夫、梅津征英、奥宗治、加藤進、加藤節子、金井ヒロ子、下瀬英樹、日高晃一、平松久、前田幸子、南野彰宏、宮武正浩、青山新太郎、久保秀雄、鶴岡英雄、永松啓至、橋本志真彦、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、山本猛、吉井道郎
今回は、出展者が、絵画部門

が十二名で作品が三四点、写真部門が十一名で作品が三四点。絵画部門・写真部門とも常連が減り、刺繍、篆刻など彩を添えるものもなかったが、参加された皆さんが多くの力作を出展され、盛況裡に終了した。

会場に入ると、すぐ左側の写真部門の展示が先ず目につく。日本写真家連盟のメンバーである青山さん、永松さん、吉井さんの三人の作品が並んで展示され、刻々と変わる山々、岩壁の表情が見事に写されている。また、昨秋初めて開催された東西合同撮影会の際に湖北・湖東にて撮られた作品が数多く展示され、今後の発展を予感させる。



絵画部門では、平松さんの油絵三点、とくに、題名「ひととき」の婦人画が来場者の目を引く。奥さんの風景画三点に感銘を受ける方も多く、また、宮武さんの水彩七点、初めて出展された南野さんの油絵一点なども絵画を十分に堪能させてくれる。女性陣では、加藤さんの植物

歩こう会

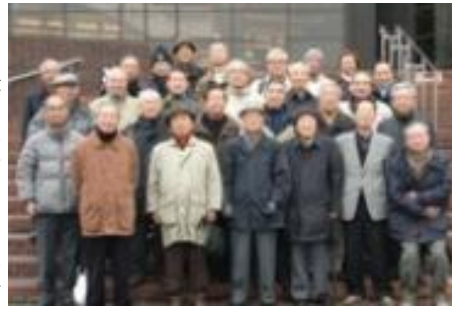
本部第六十三回歩こう会

三菱みなとみらい技術館見学と第九回OB会作品展観賞

平成二十一年二月二十六日(木)
参加者二十八名 井伊國裕、市村義雄、岩田幸三、岡田五郎、岡田朝子、亀田実、神尾章、木原仁博、近藤久美、榮洋一、坂本堅一、佐藤勇、佐藤昌二、塩澤敏行、高橋義衛、谷口勝利、柘植茂、鳥居正義、中村重善、花田正一郎、原田浩次、平盛秀正、松内俊夫、宮下和久、宮武正浩、森邦彦、山上章三郎、吉井靖

午前十一時十五分桜木町駅に集合、天候はあいにくの曇り、小雨も混じる厳しい状況だった。まず、ランドマークタワー隣の「三菱みなとみらい技術館」に入場、各自興味のあるものを自由行動で、約九〇分見学した。展示内容は、宇宙、海洋、環境・エネルギー、乗物の歴史、交通など、精巧な実物模型、解

説パネル、体験コーナーがあり、大変わかりやすいものだった。その後、桜木町駅前より、「あかくつバス」で新県庁前に移動、横浜三塔（県庁のキングの塔、横浜税関のクイーンズ塔、開港記念館のジャックの塔）が一望できる地点を通り、神奈川県民ホールに、午後二時に到着。県民ホール入口で記念撮影。



OB会作品展では、出展者当番の皆さんに場内の案内をしていただき、約一時間、絵画、写真の鑑賞をした。

今回は、二十三名の方が出展、いずれの作品も趣味の域を超えた立派なもので、日頃の精進の結果と本当に感心させられた。

鑑賞終了後、懇親会会場への途中にある中華街の「媽祖廟」、関帝廟の二社を見学参拝し、午後四時前に、懇親会会場の「順海閣」へ到着。

懇親会は、最高齢高橋義衛さんの乾杯でスタート、おいしい中華料理と紹興酒で大盛況、時を忘れての歓談、最後は、坂本

堅一さんの万歳でお開き、予定どおりの午後六時三〇分終了。

大阪支部第三十三回樹楽会 ゆずの里と鳥鍋

平成二十一年三月四日（水）参加者十二名 岩田博、奥田公具、押切繁、加藤龍雄、熊倉寛、平井穰、福井久、山口滋、山口陸雄、近藤（秋野）昭子、前野（古川）千佳子、吉田康子
大阪の歩こう会も三十三回を数え、行き先も種々趣向を凝らしているが、「柚子の里」だけは毎年訪れ、今年で八回目になる。最初の二回は亀岡から「明智越え」、（明智光秀が本能寺攻めに行くときにとったコースのひとつ）とセットにしていたが、今は京都・保津峡から里へ直行となった。それでも「JR保津峡駅」から四キロを緩やかに上り、一時間で「つじの家」に着き、柚子湯に浸かって出てくると、鳥鍋が待っていた。
早速ビールで乾杯のあと、有志が持ち寄った地酒を味わい、



歓談のひとつを過ぎしたが、鍋の具の圧巻は嵯峨野・嵐山「森嘉」の名品・豆腐であった。最後の「おじや」まで全て平らげ帰路についたが、下り坂を保津峡まで歩いたのは勿論。

ゴルフ同好会

本都地区第三十一回ゴルフ会

平成二十一年五月十五日（金）湘南カントリークラブ
参加者十一名 飯箸弘、市村義雄、神尾章、篠島秀明、菅澤武彦、中野雅明、長嶺英則、西野盛雄、原田浩次、平盛秀正、森邦彦
晴天に恵まれた湘南カントリークラブで、第三十一回本都地区ゴルフ会を開催いたしました。今回は、ご都合のつかない方が多く、十一名と少ない参加者でしたが、プレー後の懇親会も含め、和気藹々楽しいゴルフ会になりました。



優勝は飯箸弘さん（グロス九六、ハンデ二二、ネット七四）、二位は菅澤武彦さん、三位は中野雅明さんでした。
次回幹事は、飯箸さんと菅澤さんです。十月二十九日（木）、湘南CCでの開催を予定。

長浜支部第三十二回ゴルフ会

平成二十一年五月七日（木）彦根カントリー倶楽部
長浜支部OB会ゴルフコンペ雨で中止となる。残念！
五月七日（木）、第三十二回長浜支部ゴルフコンペ開催の予定であったが、あまりにも湖北地方はゴルフデンウイークが好天続きで、当日の天気廻りを心配していたが、案の定、心配が的中し、当日は朝から豪雨に近い雨に見舞われてしまった。
参加予定者十九名は、会場の彦根カントリー倶楽部に、三々五々残念顔で集合してきたが、OB会ゴルフは、会員の健康増進を図ることが目的であるとの趣旨で、無理な行動は勇気をもって引き返す精神で、今回は中止と決定し、秋の大会に競い合うこととした。

それでも、「雨にも負けず」の根性の持ち主たちが、ブライベートで、二組八名が、雨の中にスタートして行った。

大阪支部第十五回ゴルフ会

平成二十一年四月十六日（木）神戸ロイヤルパインズゴルフクラブ
参加者八名 宇塚正、岡本益弘、押切繁、平井穰、松本弘、山口滋、山本功、吉田康子

八重桜が美しい。ただ無性に寒い、冷たい。四月というのに、季節はずれの寒い一日、集合写真撮るのを忘れませんでした。
八人中グロス二桁が二名、三桁が六名。まあこんなものではない。常連の雨森兄の早期復帰を祈ります。
成績は、次のとおりでした。

優勝 宇塚正
準優勝 岡本益弘
第三位 山本功



千葉オーブン第九回ゴルフ会

平成二十一年四月十七日（金）ザ・カントリークラブ・グリーンモア
参加者十六名 石橋正康、春日部嘉三、北川忠澄、古志豪也、佐藤勇、関守二、徳永英之、長崎英太郎、長崎光男、長嶺英則、原田昌、東田浩作、森邦彦、安田久雄、山崎勲、渡辺俊彦
第九回千葉オーブンゴルフは、四月十七日（金）に開催。
当日の天気予報は、雨の確率六〇パーセントで、やっぱりなあと諦めムードでしたが、結果は一日中肌寒かったものの、雨に降られずに済みました。
お陰様で一日和気あいあい楽

しくプレイすることができた上、幹事は雨男との汚名を返上することができました。

前回に引き続き、ピートダイ設計の難コース、ザ・カントリークラブ・グレンモアへの挑戦でしたが、グロス一〇〇を切った人は、今回は十六名中四名（前は十九名中三名）と、やや進歩がみられたようです。



初参加は渡辺俊彦さん、原田昌さん。優勝、ベスグロは、関守二さん、準優勝は森邦彦さんで、お二人が、次回幹事。次回は、十月二十三日（金）の予定です。

テニス同好会

本地区第十六回テニス会

平成二十一年五月十二日（火）
高井戸・ダイヤモンドテニスクラブ

参加者十七名 石橋正康、伊藤春生、岡田五郎、金子昇、駒橋武男、笹本宏昭、関守二、塚田正昭、土川猛弘、鳥居正義、原

田浩次、藤原志朗、堀河勲、三浦修、宮下和久、安田久雄、吉井靖

当日は、前回に続き晴天、新緑が鮮やか、コートの温度計が二七度。初夏のさわやかな風が日陰に入ると、気持ちいい最高のテニス日和。

参加者は、六四歳から最高齢七四歳と、ほぼ同世代の元気な高齢者？十七名。

オムニコート二面、四ゲーム先取、幹事の好組み合わせ（全員が六ゲームほとんど総当り）で気持ちよい汗を流しました。実力の差は、ロブショット、



ドロップショットに表れるだけでなく、球速の差が勝負を決めます。好プレイ・珍プレイあり、和気藹々のゲーム運び、お互い健康のありがたみ話し合いながらの気持ちいい大会でした。

終了後の懇親会は、クラブハウスのレストランで行われ、欠席者の近況報告メモなど見ながら、お互いの近況や思い出話に話が尽きませんでした。次回は、十月十三日（火）の予定です。

フォトサークル2000

第三十二回撮影会

平成二十一年四月十日（金）
東京・多摩森林科学園

参加者八名 久保秀雄、鶴岡英雄、永松啓至、橋本志眞彦、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、吉井道郎

今年、桜は開花から満開までの期間に低温の日々が続く撮影会の開催日を決定するのに二転三転した。幸い四月十日は晴天となり、撮影条件としては最高の日であった。

被写体の桜の開花状況は、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、シダレ等のほぼ満開の桜もあれば、フゲンゾウ、カンザンなどの八重桜系は精々一〜二分咲きである。今年、桜の開花が種類によりばらばらである。新緑と桜の華麗なコントラスト、青空いっぱい咲き誇る桜をカメラに収めるべく、参加者全員好みの撮影ポイントに急ぐ。



持参の弁当で一服したただけで、午前・午後それぞれ約一時間半の撮影時間をフルに活用する。科学園は広大で、山あり谷ありで、まさにフォトハイキングの醍醐味を満喫させてくれる。

本日の桜花撮影に満足しつつ、疲れ切った出口にある「森の科学館」に辿り着く。十四時に科学園を後にして、一路立川にある行きつけの居酒屋を目指す。冷えた生ビールで乾杯、談論風発、今日の反省、今後の予定を打合せ、解散する。

OB会事務局から

▽会員数（五月三十一日現在）
全会員数 六六九名 本部三七九名 長浜一八九名 大阪四二名 名古屋二六名 九州三三名

▽訃報

倉垣二郎殿 平成二十一年一月二十八日逝去
岡 秀明殿 平成二十一年二月十八日逝去
瀬沼伸一殿 平成二十一年三月一日逝去
山口昭殿 平成二十一年五月一日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

▽傘寿祝贈呈

岩田由春殿、大庭忠利殿、小久保武雄殿、柴田弥蔵殿、八木茂治殿、村岡精一殿、宮原正衛殿、西堀和弥殿、金田良吉殿、佐伯清忠殿、竹田善祐殿、田中一英殿

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 矢作 憲三 TEL 03-3279-6472 FAX 03-3279-6750

編集委員
加藤 進 TEL/FAX:03-3709-3610 e-mail ssmkato@u01.gate01.com
磯田 智 TEL/FAX:0749-65-2281 e-mail satoshi.isoda@nifty.com
佐藤 勇 TEL/FAX:03-3756-6264 e-mail isamu310@fiberbit.net
宮下和久 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618 e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp
柘植 茂 TEL/FAX:03-5548-3455 e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス <http://www.mpi-obkai.org/>